

1年生

4月の重点教育目標 『心豊かで思いやりのある子』

【第一小学校の仲間入り！6年生に教わりながら☆はじめのいっぽ☆】



第一小学校の仲間入りをして、そろそろ1か月になります。毎朝、6年生のお兄さんやお姉さんが付き添ってくれ、下駄箱の使い方や朝の支度の仕方、給食の準備など、1年生のペースに合わせて手伝いながら優しく丁寧に教えてくれました。第一小学校の先輩として、学校のルールや挨拶の仕方、マナーについても優しく教えてくれる素敵な6年生の姿が、1年生の良きお手本となっています。

生活科の時間には、6年生のお兄さんやお姉さんと一緒にあさがおの種を植えました。

今後は、6年生以外の学年のお兄さんやお姉さんとの関わりも増やしながら、第一小学校の生活に慣れていきたいです。

4月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【あいさつの木】



道徳の節度・節制の学習（『じぶんでオッケー』）を通して、「自分からあいさつをできるようにしたい。」と考えるようになった子供が多くいました。そこで、あいさつを学級や学年に広めるための取り組みとして、「あいさつの木」を子供たちと考えました。「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」を友達に言えたら（または友達から言ってもらったら）、あいさつの木にシールを貼っていきます。3つの言葉で3色のシールです。それぞれの学級で、どんなカラフルな木になるのか楽しみです。

毎日、あいさつの木を大切に育てていきます。

3年生

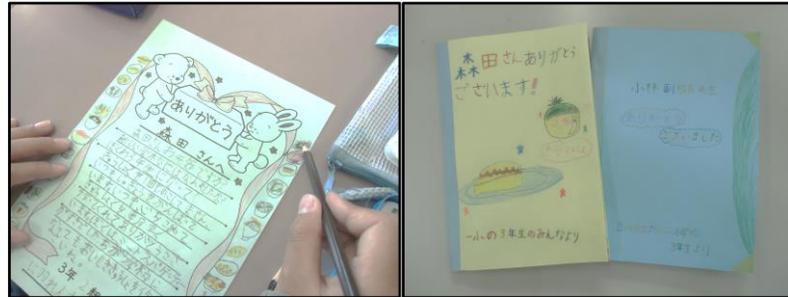
4月の重点教育目標 『心豊かで思いやりのある子』

【お世話になった先生方へ感謝のプレゼント】

先日行われた離任式の際、小林元副校長先生と、給食調理員の森田さんに今までの感謝の気持ちをお手紙に込めてお伝えしました。

日常生活の中で直接関わらせていただく機会は多くなかったものの、お二人が一小の子どもたちのために、いつも全力で支援をしてくださっていたのか再確認すると、改めて、多くの方に支えられて自分の生活が成り立っているのかに気づき、感謝の気持ちをもつことができました。

家庭や地域を含めて、周囲の方々への感謝の気持ちを持ち、自分も周りの友達や下級生に親切に接していこうという意識を高めるよい経験となりました。



4年生

4月の重点教育目標 『心豊かで思いやりのある子』

【 一年生を迎えるにあたって 】

コロナ感染防止に伴って、今年も一年生を迎える会を全校で行うことができませんでした。そのため、各学年で1年生の歓迎の気持ちを表すプレゼントを贈ることになり、4年生はぶんぶんゴマを作ることにしました。

作る前に、自分たちが入学したときの気持ちを思い出してみました。「ドキドキした」「不安だった」「楽しみだった」などを出しながら、今の1年生の状況を想像しました。そして、きっと同じような気持ちである1年生にやってあげたいことを出し合いました。思いやりの気持ちを育てる上で、相手の気持ちを想像し、共感することはとても大切なことです。

その後、一年生の喜ぶ姿を想像しながら、ぶんぶんゴマ作りをしました。板紙に色を塗って、ひもを通してかわいいぶんぶんゴマになりました。



後日、代表の児童が1年生の教室に行って、歓迎の言葉を添えてプレゼントし、やり方を教えてあげました。回して見せると、1年生から歓声が上がりました。

今回の取り組みは、『心豊かで思いやりのある子』を育てる指導の一部でしかありません。これからも高学年として、低学年のお世話をし心優しい4年生になっていけるよう、日々の積み重ねを大切に指導に取り組んでいきます。

4月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【1年生を迎える会 ～歓迎の気持ちを伝えよう～】

実行委員のメンバーで話し合い、メダルを作り、メッセージを書いて1年生にプレゼントすることになりました。初めての実行委員活動でしたが、さすがは高学年！事前の打ち合わせで作り方を覚え、各クラスに戻って目的や作り方についてしっかりと説明をしていました

折り紙が得意な子も苦手な子も、教え合いながら一生懸命に折ったり、心を込めてメッセージを書いたりする姿が素敵でした。1年生もきっと喜んでくれるはず…！



4月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【 最高学年としての自覚が芽生える 】

4月に入って6年生になった子どもたち。これまで、4月は新しい学年やクラスの生活に、少しずつ慣れ親しんでくる季節でした。しかし、「最高学年」と呼ばれる6年生は少し違います。4月早々から、6年生としての初めての役割が待ち受けています。

朝、7時55分になると数名の6年生が登校し、準備を始めます。「一年生お手伝いです。」初めて小学校に登校する1年生のお手伝いをするのです。昇降口では靴の入れ方や上履きを履く場所を教え、教室まで連れていきます。教室でも、朝の支度の仕方を教えています。また、先生が来るまで、読み聞かせやマジックをして1年生を楽しませています。給食中は、配膳準備をし、掃除中は1年生のフロアの掃除をするなどして、6年生がお手伝いをしています。

6年生は、自然に最高学年としての振る舞いができているのか、1年生にうまく関われているのか。「そんなに簡単ではありませんでした。」4月の第1週の初めてのお手伝いでは、自然に声をかけられる子、うまく関われずに迷っている子、1年生への伝え方を考えてはうまくいかずに悩んでいる子、6年生の表情は様々でした。ある子は、教室で泣きながら「自分がやりたいことができなかつた。」と話し、仲間とぶつかり合いながらも「1年生のために」とできることを考えていました。またある子は「1年生にどう伝えたらいいかわからない。関わるのがへたくそなのかな。」と自分と向き合い、葛藤しながらも1年生のお手伝いへ向かっています。こうして悩みながらも「1年生のために」と考えることで、花咲く季節に、子どもたちの心に最高学年としての新芽が芽生えたのだと思います。

これから、最高学年としてどんな花を咲かせていくのか楽しみます。



あおぞら学級

4月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【入学・進級の喜びを感じよう】

1年生は入学、2～6年生は進級してから1か月が経ちました。今月は、教育目標の『心』を重点目標として学習活動に取り組みました。入学や進級の喜びを感じる行事が盛りだくさんだった4月の学習の様子を紹介します。

1年生を迎える会をしました♪ 「1ねんせいを よろこばせたい！」と高学年を中心に提案があり、『1年生を迎える会～あおぞらバージョン～』を開催することになりました。1年生が喜んでくれること…をテーマに4つの生活班に分かれて話し合いました。話し合いの結果、班ごとに出し物を決め、授業時間や休み時間を使って準備や練習に取り組みました。迎えた当日…ニコニコの顔であおぞらルームに入場する1年生。うまく発表できるかな、喜んでくれるかなと緊張な面持ちの上級生。会が始まると、パプリカダンス、ジャンケン、くじ引き、人形劇それぞれに興味津々の1年生でした。感想を聞かれた1年生。6人全員がしっかりと感想を言葉で言えたことに、上級生から大きな拍手をもらいました。上級生の振り返りでは、「1年生が喜んでくれてよかった。」「1年生が嬉しそうで安心しました。」と、『1ねんせいを よろこばせたい！』の目標を達成することができました。



【フラワーグループ】
おみくじ・あみだくじ



【すみっこぐらしグループ】
パプリカダンス